

2月8日(木)、本校の講堂で総合理学科2年生の課題研究発表会が行われました。

課題研究を進めていく際に様々なアドバイスやご指導いただいたサイエンスアドバイザーの皆様、本校SSH運営指導委員の先生方、他校の先生や校長先生方、保護者の方々と多くの方々がご来場下さいました。お忙しい中、本当にありがとうございました。

9つの班がそれぞれ1年間取り組んできた課題研究を口頭発表しました。

〈課題研究のテーマ〉

「ドキット疑惑だらけの水素水」

「ボルボックスの個体群密度とライフサイクルについて」

「ヒト腎がん細胞に対する抗がん剤の併用効果」

「植物精油の殺ダニ剤としての実用性評価と殺ダニのメカニズム探求ーアロマで香るダニ退治ー」

(平成30年度SSH生徒研究発表会(全国)で発表します)

「クリプトビオシスの利用」

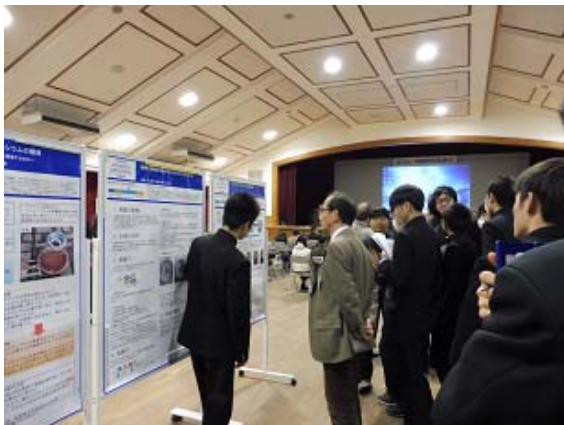
「物体の形状変化と抗力の相関性」

「セリシンの新規活用法の開発検討」

「乳酸菌が植物に与える影響」

「ミナミヌマエビは生き残れるのか！ー交雑実験と遺伝子解析ー」

生徒たちは、3年生になってから、今回の課題研究を英語で発表したり学会で発表したりすることになります。



会場の後方に、課題研究のポスター展示と自然科学研究会のポスター展示を行い、開会前や休憩時間に見ていただきました。



司会進行は生徒が行いました



平成30年度のSSH生徒研究発表会(全国)での発表テーマに選ばれた課題研究です



発表終了後の質疑応答の様子です

質疑の時間では、2年生や参加された方々だけでなく、1年生からも様々な質問が出されました。課題研究をご指導下さいました先生方、総合理学部はじめ関係の先生方、サイエンスアドバイザーの皆様、本校SSH運営指導委員の皆様にご心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。